

小学校 6 年生の皆さん及びその保護者の皆様へ

市立札幌開成中等教育学校

校長 宮田 佳幸

いつも本校の教育活動に御理解と御協力を賜り誠に感謝申し上げます。

今年度の学校説明会は 3 年ぶりの開催としてこれまで準備をしてまいりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染者数がここ札幌市内でも増加してきており、参加される多くの皆様の安全を確保するため、誠に残念ですが、第 1 回学校説明会を中止することとしました。本来であれば、授業を受けている在校生の様子を直接御覧いただき、本校の学びを知ってもらう機会としておりました。参加を予定されていた皆様におかれましては、大変申し訳ございませんが、御理解くださいますようお願いいたします。

ここで、本校のことについて少しお話したいと思います。

本校は今年で開校 8 年目を迎え、現在 6 期生から 11 期生が在籍しております。本校では、生徒が主役であり、教員は生徒の隣に寄り添うファシリテーターの役割を担っています。主役である生徒は「自ら疑問や課題をもち、主体的に解決する学習」をすることが求められ、国際バカロレア (IB) の教育プログラムを活用して学びを進めています。

IB の教育プログラムにより、本校生徒は様々なスキルを身に付けていきます。それはただ単に大学に合格するための知識・技能だけではなく、大学や社会など将来で必要となるスキルを獲得していきます。

昨今、社会構造が変化してきており、難関大学を出たからといって簡単に就職できる状況にはなくなってきました。先日、本校を視察した札幌商工会議所のキャリア委員会に所属している企業の会長や社長の方からも、採用について、今はどこの大学を出たかではなく、答えのない課題にどのような姿勢で取り組んでいけるのか、などといった視点にシフトしているというお話を聞いたところです。

本校では、すでに 6 年間学んだ生徒が卒業しています。卒業生に話を聞くと、大学での授業に対して困難を抱えている学生が多いそうですが、その中でも、本校の卒業生は、主体的に授業へ参加できているとのこと。開成での学びの在り方がすでに大学のそれになっています。

本校では、大学に入るためだけの学びは行っておりません。もし、そこに不安を感じたり、最短で確実に大学に行くことを希望するのなら、他の学校への入学をお勧めします。一見すると回り道をしているような学びに見えるかもしれませんが、将来に通じるスキルを身に付けた本校の卒業生が今後様々な分野で活躍することを期待しているところです。

最後になりますが、小学校 6 年生の皆さん、本校への入学を希望することを決めるのはあなたの意志によるものです。お父さん・お母さんに言われたとか、学校の先生に勧められたということがあってもいいかもしれませんが、最終的に決断するのは、本校で学びたいという強い意志をもつ皆さんです。

そのような皆さんの入学を、教職員一同、心待ちしています。